

輝く高梁人

輝く高梁人では、高梁市にゆかりのある、さまざまな分野で活躍中の人を紹介します。



アジア大会出場決定

有漢町出身の中山 惇之丞
なかもやし じゅんのすけ

岡山商科大学3年生
なかもやし じゅんのすけ
中山 惇之丞さん
(有漢町出身)

ル射撃部に所属し、これまでさまざまな大会で優秀な成績を収めてきました。4月に行われたアジア競技大会の最終選考会で1位となり、9月に開催される愛知・名古屋アジア大会の男子10mエアピストルおよび混合種目の日本代表に内定しました。

ライフル射撃は、離れた標的の小さな中心部を正確に撃ち抜いて得点を競うオリンピック正式競技です。種目は「ピストル」と「ライフル」の2種類があり、中山さんは圧縮空気で弾を発射するエアピストルを主にやっています。

オリンピック出場を目指して

ライフル射撃との出会い

幼い頃からミリタリー系※のものに興味があり、中学校で高校の進路先を調べていたら、高梁城南高校のライフル射撃部を知ったことが競技を始めるきっかけになりました。

※ミリタリー系とは、軍用服や装備品をデザインに取り入れたスタイルやアイテムを指します。

ライフル射撃の魅力

努力や練習の成果が点数として表れ、自身の成長を実感できることが魅力です。また、年齢や性別、体格に関係なく誰でも始められ、最後の1発まで勝負が分からない奥深さがあります。

日々の努力と成長

週3回、1回約2時間半の練習を続けています。練習では良い点数が出て、本番では思うような結果が出ず、選考記録まであと一歩届かない時期も

中山選手に
聞く!!



ありました。多くの試合や合宿で経験を積み、射撃の課題を見つめ直し、改善を重ねてきました。勝ちたい思いを持ちながらも、常に冷静さを保つことを大切にしています。

アジア大会への意気込み

国際大会初優勝を目標に、オリンピック出場権がかかる世界選手権に向けて、良いスタートを切れる大会にしたいです。

好きから始まる夢

夢への挑戦には、困難や高い壁にぶつかるとありますが、「やってやる」という気持ちで立ち向かい、乗り越えていくことが大切です。「好きこそ物の上手なれ」という言葉があるように、好きなことに夢中になって努力を続けることで、少しずつ夢に近づくことができると思います。皆さんの夢が叶うことを願っています。



中山選手左から2人目

中山選手の素顔

Q オフの日はどう過ごしていますか？

A 基本的には寝たり、ゴロゴロしたりして体を休めています。気分転換にランニングをすることもあります。

Q リラックスする方法を教えてください。

A 好きな曲を聴いたり、きれいな景色を眺めたり、アニメや漫画を見たりしてリフレッシュしています。

Q 高梁市の好きなところはどこですか？

A 自然や魅力的な場所が多いところです。うかん常山公園、備中松山城、高梁城南高校、吉備川上ふれあい漫画美術館、備中高梁駅など、好きな場所がたくさんあります。

写真：日本ライフル射撃協会提供

令和7年の主な大会結果

●第79回国民スポーツ大会 ライフル射撃競技
10mエア・ピストル男子60発競技 **優勝および大会2連覇**

●第27回日本学生選抜スポーツ射撃競技大会
10mエア・ピストル男子立射60発個人 **優勝**

●令和7年度JOCジュニアオリンピックカップ
10mエア・ピストル少年男子60発競技 **優勝および大会2連覇**

●2025年度全日本学生スポーツ射撃選手権大会
10mエア・ピストル男子60発競技 **優勝および大会新記録**

●2025年度全日本スポーツ射撃競技選手権大会
10mエア・ピストル男子60発競技 **優勝**

●その他世界大会にも多数出場
2025世界選手権(エジプト)
ジュニアワールドカップ(ドイツ)
2025アジア選手権(カザフスタン)